

# チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。  
だからこそ恐れるな。  
夢に向かって頑張る姿は、  
いつの時代も美しい。

「『青年団』という名前のイメージからか、同年代に理解してもらうのが逆に難しいところはあるかもしれないですね」。この4月から福井県連合青年団の新団長となった入江幸治さんは、青年団としての活動の現状を話す。

ジュニアリーダーなどの活動を通じて、以前から若い人のパワーは地域を動かし元気にすることができると実感していた入江さん。進学の際も、地域政策を学べる大学へと進む。卒業後は地元に戻り、「若狭町青年会」を立ち上げた。「おもしろいものがないのではなく、若者自身が創り出そうとしていないだけ」という彼の熱い思いに賛同した地元の若者も多い。

6月～9月の「若越青年大会(体

育部門・文化部門)」に続き、「青年問題研究会」など連合青年団の大きな事業が続く。「大変ではあります。やらされているのではなく、自分たちの活動でまちを活性化させよう」と自発的に動いて頑張る仲間が周りにいるから、私自身も頑張れるし、仲間を応援する活動を続けることができるんです。

誰かが熱い思いを持ち続けられれば、青年団も活発になり、手がけるイベントなども、もっと楽しくなる。若者が動くことで上の世代も動き、楽しいまちができていく。だからこそ今年の連合青年団のスローガンには彼自身が行動の原点として持ち続けていた「熱い心」を込めた。「情熱福井みんなの心に火を灯せ！」。



若越青年大会文化部門の様子。毎年青年らしい企画を実施。今年は8月に福井市で開催される



毎年夏に行うオトナの運動会「若越青年大会体育部門」。今年は6月30日に鯖江市にて開催される

福井県連合青年団 団長

いり え こう じ  
入江幸治

若狭町出身。姉の影響でジュニアリーダーを始めて以来、地元のさまざまな活動に携わる。まちづくり・まちおこしに関することを専門的に学ぶため、高崎経済大学地域政策学部に進学。大学時代は応援団や大学祭実行委員会などの活動にも取り組む。現在は若狭町教育委員会事務局職員。「ふくい若者チャレンジクラブ」の副会長も務める。

情熱を持ち続けること——  
そうすればまちは楽しくなる。



チャレンジするって  
素晴らしい!

ホームページ・facebookページ  
「ふくい若者チャレンジクラブ」から  
イベント情報などを発信中!

仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

「ふくい若者チャレンジクラブ」メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶ [福井県 若者チャレンジ](#)

事務局 福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237  
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」